

## 第24回 日本福祉文化学会全国大会東京大会

# 暮らしの中の 福祉文化を問い直す

今大会テーマは「暮らしの中の福祉文化を問い直す」。本当の意味で「豊かな暮らし」とは何なのか、そして、そのことから遠ざけられている人たちが「豊かな暮らし」を取り戻すためにはどうしたらいいのかを考えます。

特別講演には、今なお全村避難を強いられている福島県飯館村の菅野村長をお迎えします。

飯館村は14年前に福祉文化現場セミナーを行い、過疎地域での豊かな暮らしの在り方を学んだ地でもあります。江戸庶民の暮らしを探るオプションツアー、被災地の暮らしを豊かにする歌、当事者が語るマイノリティの暮らし、暮らしを豊かにするファッション、障がいのある人の暮らしを考える演劇など、徹底的に「暮らし」にこだわり、皆様と共に議論を深めてまいります。



### 会場案内

#### 立教大学池袋キャンパス 14号館

〒171-8501 東京都豊島区西池袋3-34-1  
JR各線・東武東上線・西武池袋線・  
東京メトロ丸ノ内線・有楽町線・副都心線  
「池袋駅」下車。西口より徒歩約7分。

期日 2013年9月28日(土) 13:30 ~ 18:15  
29日(日) 10:00 ~ 16:30

場所 立教大学池袋キャンパス(東京都豊島区)

参加費 学生 1,500円  
会員 3,000円  
一般 4,000円  
懇親会費 3,500円

定員 300名

主催 日本福祉文化学会

事務局 日本福祉文化学会全国大会東京大会事務局  
(木曜日 10:00 ~ 17:00)  
〒165-0026  
東京都中野区新井2-12-10 芸術教育研究所内  
TEL&FAX: 03-5942-8510



10:00 オプショナルツアー ※詳細は、裏表紙参照

13:00 受付(14号館2階)

13:30 開会式

13:45 基調報告

## 暮らしの中の 福祉文化を問い直す ～東京大会で考えたいこと～

大会冒頭の基調報告では、この1年間の日本福祉文化学会の活動を振り返りながら、本大会のテーマである「暮らしの中の福祉文化」について考えるきっかけを提供します。「豊かな暮らし」を脅かす様々な災害・原発・過疎…。そこから「豊かな暮らし」を取り戻すために、何が必要なかを考える大会にしていきたいと思えます。

報告者 馬場 清(認定NPO法人日本グッド・トイ委員会事務局長・日本福祉文化学会理事)

14:15 特別講演

## 『までいライフ』で求めた 豊かな暮らしの今を語る

日本版スローライフを目指し、本当の意味で豊かな暮らしの実現を目指してきた福島県飯館村。本学会では14年前に福祉文化現場セミナーで訪れ、その「までいライフ」のすばらしさに触れました。その後の村づくり、そして東日本大震災後の暮らしのあり方について、村長である菅野典雄氏をお迎えして語っていただきます。

講演者 菅野典雄(福島県飯館村村長)



15:20 特別公演

## ～共に～ 被災地復興への願いを込めて

オペラ歌手の村山岳氏は、震災前から演奏や旅行で東北を訪れることで、東北に縁があり、震災後も度々、被災地に足を運び、地元の人達と交流を深めています。今、私達ができる事は何か？を考えながら被災地での文化の役割を模索しています。

演奏者 村山 岳(オペラ歌手 バス・バリトン歌手)



16:15 交流分科会(14号館 D201教室・10号館 X102～X107教室)

5つの分科会から一つを選んでお申し込みください。

18:15 交流分科会終了

18:30 懇親会(立教大学第一食堂2階 参加費：3,500円)

20:30 終了

### ① 第1交流分科会 「災害支援と福祉文化」

東日本大震災から2年半。全国的に被災地への注目度が低くなりつつある今こそ、その現状を考えることは重要です。今なお全村避難中の福島県飯館村から3名の方をお迎えし、現時点での福祉的課題について情報共有した上で、今後の支援のあり方について、質問形式で明らかにする予定です。

パネリスト 菅野典雄(福島県飯館村村長)  
高橋政彦(福島県飯館村健康福祉課福祉係長)  
中井田多美子(福島県飯館村やまゆり保育所所長)

指定討論者 岡村ヒロ子(日本福祉文化学会関西ブロック担当理事)  
藤原一秀(社会福祉法人光朔会オリンピック他)

コーディネーター 石田易司(日本福祉文化学会副会長・桃山学院大学教授)

### ② 第2交流分科会 「地域文化と福祉の創造」

福祉文化を考えると、「各地域にある文化を取り入れた福祉実践」というものに目を向ける必要があります。そして一人ひとりの生活スタイルを尊重し、地域での暮らしを大切にすることが真の福祉の実践に繋がるという視点から、地域でご活躍の方々をお迎えし、会場の皆様と共に福祉文化の可能性について考えます。

パネリスト 菅 敬浩(会津游山窯主宰 陶芸家)  
田村洋子(NPO法人日本わらべうた協会理事長)  
樋口智幸(染の小道実行委員会広報担当)

コーディネーター 多田千尋(高齢者アクティビティ開発センター代表)

### ③ 第3交流分科会 「楽しみの福祉文化」

福祉の現場における楽しみの追求として、「レクリエーション」「アクティビティ(活動)」「プレイワーク」などの用語で多様な取り組みがなされています。それらの活動が利用者のやりたいこと・やるべきことになっているか、考え方や実践内容を点検し、現場が抱える困難な状況を見据えながら、今後の課題を検討したいと思います。

問題提起 高橋紀子(ルナ・イ・ソル代表)  
シンポジスト 松沼記代(高崎健康福祉大学健康福祉学部教授)  
中野ひとみ(アクティビティ ディレクター)  
佐藤善也(全国福祉レクリエーション・ネットワーク代表)

コーディネーター 園田碩哉(日本福祉文化学会顧問)

### ④ 第4交流分科会

#### 「ユニバーサルデザインと人々の暮らし」

高齢者・障がい者とともに生活を含めた衣服について考え、2年前に会社を設立し、新しいファッションスタイルを提案している渡辺聡子氏。「高齢者や障がいをもつ人たちも満足する衣服に近づくために」をテーマにお話を伺い、講演後、衣服を実践的に考えていくための意見交換の場を設けます。相談したい衣服がありましたらご持参ください。(既製品でも製作品でも構いません)

講師 渡辺聡子(山野美容芸術短期大学名誉教授  
株式会社リラ・ヴォーク代表取締役)

司会 森山政与志(一級建築士 新潟医療福祉大学非常勤講師)  
塩田公子(大宮ろう学園教諭)

### ⑤ 第5交流分科会 「マイノリティと現代社会」

「働く」をテーマとして、3人の知的障害を持つ当事者の方々に会社や作業所で働くことの思いを大いに語っていただきます。当事者たちの日常生活やそこで織りなす彼らの人生観や社会観を語っていただくことを通じて、豊かな「福祉文化」につながる社会の構築を皆さんと一緒に考えていきたいと思います。

パネリスト 小沼一弥(本人活動の会「フレンドリーシップ代表」)  
富田 祐(本人活動の会「ブルースカイクラブ会長」)  
相田あづさ(きょうされん埼玉支部WA会「利用者部会」)

司会 阿比留久美  
ファシリテーター 杉崎 敬 西村明子

**8:30 総会** (14号館D201教室) ※学会員の方はご参加ください。

**9:30 受付** (14号館2階)

**10:00 研究発表①～⑤または委員会企画①、②の  
どれかを選んでご参加ください。**

発表終了後、それぞれのグループごとに全体討論の時間を設けますので、お申し込み以外の会場への移動は、ご遠慮いただきますようお願いいたします。

**12:00 昼食休憩**

※昼食手配をご希望の方は事前にお申し込みください。(1,000円)

**13:00 体験劇** (太刀川記念館)

## はるなが 池袋にやってきた



一人の22さいの女性。小学校4年生のころに「学校に行きたくない」と、養護学校を自主退学。小さいときからの友だちやかいご者との関係づくりで苦勞しつつも、18さいのときに、東京・国立で自立生活をはじめました。どんなに重いしょうがいをもっていても、自分の意思をもって生きていくことの大切さを、笑いあり、涙ありの体験劇でお届けします。

**出演者** しょうがいしゃの地域での自立生活をサポートする「ライフステップ ワンステップかたつむり」(東京都国立市)のメンバーやなかまが総出演。「かたつむり」の運営のかたわら、心のこもったダイナミックな歌と踊りを全国の人たちに届けようと日々練習に励んでいます。

**14:15 パネルディスカッション**

## 暮らしとしての 福祉文化を問い直す

便利でものが豊富にある暮らしを素晴らしいと思いがちですが、地域に根差した平凡な暮らしこそが、生活文化として大きな価値を持っているのではないのでしょうか。立場も居住地も暮らし方も全く異なる3人が、それぞれの見た「暮らし」を語り、違う視点からの意見をぶつけ合うことで、真に豊かな暮らしとは何かを探ります。  
**コーディネーター** 島田治子(日本福祉文化学会副会長・目白大学教授)



**旗野秀人**  
(新潟水俣病安田患者の会事務局長)  
「阿賀野川に発生した新潟水俣病の公害反対運動は文化運動であるべきだ」。自然と共生しながら暮らしている人々の生活こそが文化なのだ、同じ阿賀に生きる者としての実感を込めて語ります。



**能口秀一**  
(ふるさと丹波市定住促進会議委員長)  
兵庫県宝塚市から丹波市に移り住み、“よそ者”の目で見ることで、廃れた林業の魅力や可能性を発見して再生。丹波市の定住者を増やす取り組みにも挑戦し、そこから見えてきたものを語ります。



**河東田博**  
(日本福祉文化学会会長・立教大学教授)  
岩手県内最大の被害を受けた陸前高田市。その広田町長洞集落の復興はなかなか進みません。学生を連れて支援に入る中で見えてきた問題や可能性は何なのか。引き継ぐべき暮らしとは何なのかを語ります。

**16:15 閉会式**

第9回福祉文化実践学会授賞式  
次回開催地挨拶

**16:30 終了**

### A 研究発表① 知的障害と福祉文化

- 知的しょうがいのある人の障害の自己認識のゆらぎ  
杉田穂子(青山学院女子短期大学)
- 知的障害者のセクシュアリティ・結婚・子育て支援に関する研究  
西村明子(立教大学大学院博士後期課程)
- 知的障害当事者の当事者活動における支援者の役割と課題  
—当事者たちが考える支援者像から、新たなくかわり>を紡ぎ出すために—  
杉崎 敬(立教大学大学院博士後期課程)

### B 研究発表② 福祉文化活動の実践

- 暮らしの中に「第三の場」を創る  
—居心地の良いまち歩きサロンの実践—  
澤内 隆(文教大学/帝国書院)
- アマチュアオーケストラのボランティア演奏会参加へのプロセス  
及び演奏会が団員に与える影響  
正井佐知(大阪大学大学院博士前期課程)
- 福祉文化としての音楽活動が目指してきたこと  
林 香里(武蔵野音楽大学)

### C 研究発表③ 政策・法律と福祉文化

- 介護福祉士候補者と日本社会  
草薙真由美(香川短期大学)
- 性売買防止法と自立支援政策における現状と課題  
—韓国と日本の政策比較を中心に—  
李 京真(立正大学大学院博士後期課程)
- 子どもの福祉文化と児童館  
齋藤史夫(埼玉純真短期大学)

### D 研究発表④ 高齢者と福祉文化

- 地域高齢者それぞれの健康・ライフスタイル・生きがいを重視した食からの地域包括支援のあり方に関する研究  
その1、「食」からの地域包括の必要性と可能性  
足立己幸(名古屋学芸大学健康・栄養研究所)  
谷口友子(社会福祉法人健友会)
- 地域高齢者それぞれの健康・ライフスタイル・生きがいを重視した食からの地域包括支援のあり方に関する研究  
その2、「食」アセスメントを生かした食事支援プログラムの開発  
佐藤 亜希子・針谷 順子(社会福祉法人健友会)
- 高齢者介護サービスにおける利用者評価の現状と課題  
田中昌美(奈良女子大学大学院博士後期課程)

### E 研究発表⑤ 医療と福祉文化

- がん患者が抱える課題と医療ソーシャルワーカーの役割に関する一考察  
—単身患者の自己決定に寄り添う援助のあり方について—  
宮原和沙(医療法人社団天馬会半田中央病院)
- 「尊厳死」の法制化に関する福祉倫理的考察  
—医療ソーシャルワーカーの立場から—  
宮原和沙(医療法人社団天馬会半田中央病院)

### F 委員会企画① 実践と研究の融合

～共通テーマ：職員の質～ (企画委員会企画)

より良い福祉文化の実現には、現場職員の質が要になってきます。職員を育てることは、全ての職場にとっての重要課題。今回、初めて実践者と研究者が共通のテーマをもとにそれぞれの発表をしてもらい、実践の視点、研究の視点、双方を生かした議論を通して福祉分野の資質の向上への一歩とします。

**研究者** 石井パークマン麻子  
(福井大学 教育地域科学部 発達科学講座・障害児教育教授)

**実践者** 川村絃子  
(社会福祉法人 みずき福祉会「八王子平和の家」知的障害者支援施設)

**司会者** マーレー寛子  
(社会福祉法人小羊会 デイサービスセンターむべの里施設長)

### G 委員会企画② 研究討論会

～テーマ：福祉文化研究のねらいと方法～ (研究委員会企画)

福祉文化研究とは、福祉一般を「文化の視点」から検討し、批判することだという認識を提起します。この場合「文化」をどう捉えるかが課題となります。文化の見方を歴史的に再検討し、互いに異なる「4つの文化」を提示して、それぞれがどのような「福祉文化研究」を可能にするかについて、これまでの研究実績を踏まえて論議します。

**報告者** 園田碩哉(日本福祉文化学会顧問)

## 江戸庶民の暮らしと信仰のルーツをめぐる

講師：澤内 隆(帝国書院/文教大学)

元気なお年寄りが集う「おばあちゃん原宿」こと巢鴨地蔵通り商店街と安産・子育ての守り神をまつる雑司ヶ谷鬼子母神をめぐる、江戸庶民の暮らしと信仰に近づきます。江戸庶民信仰のありかたは個人の現世利益的祈願に基礎がおかれ、遠隔地ではなく、江戸の市中・近郊の神仏に願かけを行うという形に特徴があります。

集合 10:00 JR巢鴨駅 正面口

行程 巢鴨駅…真性寺地蔵尊…とげぬき地蔵(高岩寺)…巢鴨の庚申塔…都電庚申塚=都電鬼子母神前…鬼子母神…ガード下…(豊島区郷土資料館)…立教大学

参加費 無料(但し交通費、都電160円)

定員 15名(先着順)

## 懇親会

大会1日目の夜に、懇親会を行います。全国各地からお集まりいただきました研究者、実践者の皆様との交流の場となりますので、是非、ご参加ください。参加希望の方は、大会の参加と共にお申し込みをお願い致します。

期日 9月28日(土)  
18:30 ~ 20:30

会場 立教大学 第一食堂

定員 60名

参加費 3,500円

## 展示

会場に、「日本福祉文化学会活動紹介コーナー」を開設します。今年2月に行われた国際現場セミナー「韓国の福祉文化を現場から学ぶ」のパネル展示などを予定しています。休憩時間や移動時間等に、ぜひご覧ください。



### お申し込み方法

#### 申し込み締切 2013年8月31日(土)必着

- 下記の「大会参加申込書」をコピーして必要事項をご記入のうえ、FAX・郵送にてお申し込みください。お電話によるお申し込みは受け付けいたしませんので予めご了承ください。
- 申込書の送付と同時に、下記の口座宛に参加費をお振込みください。  
ご入金先 郵便振替 番号：00150-5-359614  
加入者名：東京大会実行委員会  
通信欄：東京大会参加費  
※ご依頼人は申込書に書かれたお申込代表者氏名を記入してください。  
※ご入金時のお振込手数料はご負担いただきますようお願いいたします。
- 申込書とご入金確認できたところで申し込み完了とし、2013年9月10日頃より順次、参加票をお送りします。参加票は当日会場まで持参し、受付にご提示ください。

### 参加費

- 大会参加費(2日間)  
会員：3,000円 一般：4,000円 学生：1,500円
- 懇親会参加費：3,500円
- 2日目お弁当：1,000円(お茶つき)  
※大会2日目(9月29日)の昼食の手配を希望される方は申込書該当欄に○をつけてください。事前予約のみで、大会当日の販売はありませんので、ご注意ください。

### お申し込み・お問い合わせ先

#### 日本福祉文化学会 全国大会東京大会事務局

〒165-0026 東京都中野区新井2-12-10 芸術教育研究所内

TEL&FAX：03-5942-8510

(FAXは随時受付。電話でのお問い合わせは木曜日10:00 ~ 17:00)

※ご宿泊は、各自手配いただきますようお願いいたします。

※駐車場はございませんので、公共の交通機関でお越しください。

※お申し込み後に変更・取消がある場合は、事務局まで至急ご連絡ください。

※尚、キャンセルの場合、参加費、懇親会費、お弁当代の返金はいたしませんので、ご了承ください。

### 大会参加申込書

申込日： 年 月 日( )

お申込代表者氏名 (フリガナ)		所属先 (学校・会社・団体名)		役職						
		参加票郵送先住所 <input type="checkbox"/> 所属先 <input type="checkbox"/> ご自宅 〒 都道 府県								
電話		FAX		E-mail						
	(フリガナ) お申込者氏名	区分	大会参加日		オブショナルツアー 先着順15名 9/28	交流分科会 ①~⑤の中から選択 9/28	懇親会 9/28	研究発表・委員会企画 ④~⑥の中から選択 9/29	お弁当 9/29	備考 ※
			9/28	9/29						
例	( トウキョウ ハナコ ) 東京 花子	学生・ <u>会員</u> 一般	○	○	○	① ② ③ ④ ⑤	○	A B C D E F G	○	
1	( )	学生・会員 一般				① ② ③ ④ ⑤		A B C D E F G		
2	( )	学生・会員 一般				① ② ③ ④ ⑤		A B C D E F G		
3	( )	学生・会員 一般				① ② ③ ④ ⑤		A B C D E F G		
※備考欄記号：①車椅子使用 ②要約筆記通訳希望(ただし基調講演、シンポジウム、第1交流分科会のみ) ③その他 その他( )										
大会参加費 <input type="text"/> , <input type="text"/> 円 × <input type="text"/> 人 + 懇親会参加費 3,500円 × <input type="text"/> 人 + 2日目お弁当 1,000円 × <input type="text"/> 人 = お振込金額 <input type="text"/> , <input type="text"/> 円										